

## 1. WIMで得た学びや、実施しての感想

はじめは、英語力に自信がなく、英語力をつけてから参加する方が良いのではないかと参加を迷いました。しかし、実際に参加してみると、担当の先生方が仰っていたように、コミュニケーションをとる方法というのは、オンラインの翻訳機能・アプリ・チャット等、本当にたくさんありました。それ以上に、このプログラムに参加したことにより、海外の人や海外の状況をたくさん学ぶことができました。

今回のオンラインプログラムのテーマは『家族の危機』ということで、ミネソタ州立大学マンケート校の学生らとグループになり、学生同士でテーマを決めて自分の家族の危機と関連づけながらディスカッションを進めました。その中で、日本に住んでいたら想像もつかないような多くの家族の危機を知ることができ、良い学習ができたと思っています。

私は将来助産師となりいずれは海外で働きたいと考えています。海外で働くためには、言語さえ通じれば良いと参加前は考えていましたが、参加後の今は、会話ができそれに加え、その国自体について知ってから行かなければ、患者の求めている医療を提供することが難しいと思いました。このプログラムに参加して、自分の目指す看護師像が少し変化し、良い刺激になったと感じています。これからも、自分の理想を追い求めて、患者のための看護とは何かを追求していきたいと思うことができました。

## 2. 来年度の受講学生へのメッセージ

私は英語力に自信がなく、このプログラムに参加するかとても迷いました。しかし、何人かの先生に参加することを相談してみると、絶対いい経験になると伺ったので、飛び込むようにこのプログラムに参加しました。もちろん大変なことも多いですが、グループになる海外の学生らと数回 zoom 上で顔を合わせて会話することで、プログラムに参加する前よりは、海外の人や海外の実態について学ぶことができました。コミュニケーションをとる方法はたくさんあるので、ぜひ皆さんも、“飛び込むように”参加してもらえたらと思います。